



ほんわか

令和6年12月13日
保健だより1年特別号
小松市立芦城中学校

心と体の健康(思春期)講座を開催しました

12月6日(金)星の子助産院の坂谷 理恵子先生にお越しいただき思春期講座を開催しました。会が始まる前には「なんとなく恥ずかしい・いやらしい」と思っていた“性”に関するイメージが、会の終わりにはなんだか温かい気持ちに変わった生徒が多かったようです。

“生”と“性”について知る機会や考える機会をたくさんもつことにより、心と体の健康について不安が拭えたり、今後の自分のとるべき行動が変わっていくと思います。友だちの感想を読んで、また“生”と“性”について親や友達と話し合い、考えを深めてもらえたらと思います。



★みんなの感想



私はこの講演を聴いて、体の細部から細部まですべてが命に関わっていることを知りました。性交も、生命を未来に繋いでいく大切なことだと分かりました。これからも、自分の心と体も相手の心と体も大切にしていきたいと思いました。今日、このことを教えてくれた坂谷先生に感謝を伝えたいです。ありがとうございました。

1組

私は今まで「性」のことをいやらしいと思ったり、笑ったりしていました。でも、坂谷先生のお話を聴いて、「性」は愛し合うため、分かち合うためにあるということを知りました。そして、普段聞けない貴重な妊娠のこと等のお話をお聞きし、将来への不安が少しなくなりました。

1組

思春期講座を聴いて、自分や他の人のことを大事にしたいと思いました。赤ちゃんを産むときに女性はすごく大変なので、それを支えてあげたいと思いました。赤ちゃんを抱いたとき、思ったよりも重いんだなと思いました。

2組

胎児体験をした人たちから聞いた、お腹の中は温かく、周りの声は聞こえるなどはじめて知ったことが多くて、とても将来のためになりました。本物のような赤ちゃんを持ってみて、最初はびっくりしたけど、首が折れてしまうくらい弱くて、頭を支えてあげることに必死でした。このような体験などをさせて頂き、ありがとうございました。

2組



赤ちゃん抱っこ体験





妊婦体験

今日の5・6限に坂谷先生の講演を聴いて、「生・性」とは何なのか、ずっと疑問に思っていた「愛」とはどういうものかを初めて知りました。最初は正直、「性」に気持ち悪さもありましたが坂谷先生の話聴き、「性」は命に関わることだと知りました。こうしてお話を聴けて、「性」とは何か、「愛」とはどういうものなのか、という事が分かって良かったです。今後、生きていく上で今日知ったことを忘れずに一日一日大切に過ごしていきたいです。今日はありがとうございました。

3組

私は、今日の坂谷先生のお話を聴いて初めて知れたことがたくさんありました。坂谷先生が頭のとっぺんから足のつま先まですべて大切な命と言ったとき、もっと自分の体を大切にしていきたいと思いました。子どもを育てることの大変さや大切さなどにも気づけて良い機会になったと、とても思います。

5組

子宮の中を体験してめちゃくちゃ暑いことが分かった。子宮の中では、声が聞こえることが分かった。子宮の外に出た時は、とても涼しくて気持ちがよかった。赤ちゃんはお腹から出るとき、すごく苦労していることが分かった。赤ちゃんの人形を抱っこしてみたときに、こんなに重いんだとびっくりした。赤ちゃんは子宮の中で息をどうやっているのか気になった。

4組

坂谷先生の話聴いて、命の重たさや、異性や同性の気持ち、体のことについて今まで以上によく知れたと思います。赤ちゃんはどうやって生まれるのか、赤ちゃんが生まれた時の気持ち、赤ちゃんが子宮の中にいる時の温度とか声が聞こえているかなど、全然知らなかったので知れて良かったです。これからも「命」を大切にします。

3組

今日の話聴いて、生と性の関わりがすごく大切なのだと分かりました。本当に大事だからこそ、慎重に責任を持って関わらないといけないことが分かりました。自分は赤ちゃんを妊娠してから産まれるまでのビデオが心に残りました。みんな幸せそうで見ているいいなと思いました。自分はこれから、今日学んだことをずっと意識して大事にしていきたいです。

4組

「性」が自分たちにとっても関わっていて、知らなくてはいけないことなのだと分かりました。自分の体や心を大切にしたいし、自分の人生に関わってくれる人に感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。これから「性」に関わる場面も増えてくると思うので、今のうちに知っておいて、「生」も「性」も大切にしていきたいです。

5組



袋の中に入って胎児体験